

## <ふくふくまつりの取り組み（幼児クラス）>

### <もも組～3歳児>

「ふくふくまつりでママやパパと何がしたい？」とみんなで相談し、子ども達からあがった「やってみよう！」の意見をどうやって実現できるかなと考え…バナナ体操やかけっこ、しっぽとり、玉入れを行いました。子ども達は、いつも保育士や友達と楽しんでいる遊びを、ママやパパとできるんだ！と大喜び。保護者の方と一緒に走ったり、抱っこをしてもらいながら玉入れをしたり、特別感に満ちた嬉しそうな表情でした。ちょっとドキドキしたり、やってみようと挑戦したり…それぞれの姿を保護者の方に受け止めてもらって、楽しい気持ちをたくさん共有したこの経験が自信につながってくれたら嬉しいです。皆様のご協力のもと、心温まる会となりました。



### <ひまわり組～4歳児>

公園で捕まえたカエルとの出会いをきっかけに、虫への興味・関心がさらに深まっているひまわり組。「お父さんとお母さんにかっこよく走るところを見せたい!」「虫になりたい!」など子ども達から様々な思いや考えが飛び出しました。自分の好きな虫を選び、図鑑を見ながら特徴を調べたりし、身につける羽やお面づくりでは、色や形にこだわったりする姿が見られました。

毎日の生活の中では、ふくふくまつりまであと〇日のカウントダウンをしたり、曲を自然と口ずさんだりと期待を高めています。

カエル虫パクパクゲーム、どろけい、かけっこ…

子ども達の“好き”が詰まったふくふくまつり。子ども達のやってみよう!をたくさん形にしながらかみ組んできました。一人ひとりの頑張る姿や、楽しむ姿を温かく見守っていただけたらと思います。



### <ゆり組～5歳児>

保護者の皆さまに温かく見守っていただく中で、子ども達は練習の成果を十分に発揮し、のびのびと楽しみながら参加する姿が見られました。

ふくふくまつり当日に向けて子どもたちは、跳び箱や縄跳び、鉄棒など、それぞれが挑戦したいことに意欲的に取り組んできました。また、友達と相談しながら衣装やプログラムを作ったり、司会に挑戦したりと、一人ひとりが自分の役割を持ちながら準備を進めてきました。時には思うようにいかないこともありましたが、励まし合いながらあきらめずに挑戦を続ける中で、大きな成長を感じています。

本番での達成感や「できた!」という喜びは、子どもたちにとって大きな自信につながったことと思います。

この経験を力に変え、今後の様々な活動にも意欲的に取り組んでいってくれることを期待しています。

